

学校法人 東京聖徳学園

創刊50号を達成しました!

聖徳フラッシュ

第50号

平成22年10月1日

発行

学校法人 東京聖徳学園
〒108-0073 東京都港区三田3-4-28
TEL.03-5476-8811(代)



聖徳学園ホームページ
http://www.seitoku.jp/

- 聖徳大学大学院
- 聖徳大学附属小学校
- 聖徳大学
- 聖徳大学附属幼稚園
- 聖徳大学短期大学部
- 聖徳大学附属第二幼稚園
- 聖徳大学幼児教育専門学校
- 聖徳大学附属第三幼稚園
- 聖徳大学附属女子高等学校
- 聖徳大学附属浦安幼稚園
- 聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校
- 聖徳学園三田幼稚園
- 聖徳大学附属女子中学校
- 聖徳学園八王子中央幼稚園
- 聖徳大学附属取手聖徳女子中学校
- 聖徳学園多摩中央幼稚園

聖徳フラッシュ

主なトピックス

- ・短大生が千葉県産食材で料理の競演 千葉県産食材見本市「千産千商2010」開催
- ・いざ千葉県体! がんばれ聖徳選手団
- ・大杉が行く! シリーズNo.5 高原の大自然の中で、一生懸命の仲間づくり 学外研修I (志賀高原夏山旅行)
- ・同窓会ひじり会 リズム講習会保育界に定着 幼児教育専門学校 附属女子中学校・高等学校
- ・十年目の姉妹校 MLC交換留学 附属女子中学校・高等学校
- ・勉強漬けの三日間を支え合って 筑波山勉強合宿 取手聖徳女子中学校・高等学校
- ・第52回 千葉県吹奏楽コンクール 銀賞受賞 附属小学校
- ・おいしくって楽しかった 「ポテトパーティー」 附属幼稚園

INDEX

- 学園 1~2
- 大学院・大学・短大 1~3
- 幼児教育専門学校 4
- 附属女子中・高 4
- 取手聖徳女子中・高 5
- 小学校 5
- 幼稚園 5~6
- 寄付者芳名一覧 7
- インフォメーション 3~8

より豊かな未来に向け ISO認証を更新

聖徳学園は、平成15年11月に日本の教育機関では初めて品質管理システムのISO9001および環境管理システムのISO14001、両国際規格の認証を同時取得しました。

その後、高品質でより良い教育を可能にするシステムと地球環境を守る管理システムを継続した結果、平成21年2月に認証を更新しました。国際機関の定めた規格を高いレベルで更新したことにより、聖徳学園は次の高みに向けて新たな活動を展開します。

ISO9001
(教育の品質管理システム)

ISO14001
(環境管理システム)

ご意見/ご感想募集「聖徳フラッシュ」は皆さんの広報誌です。本誌に関するご意見、ご感想を下記サイトにて受け付けております。
<https://www.seitoku.ac.jp/gakuen/toiawase/frmpub>

短大生が千葉県産食材で料理の競演

千葉県産食材見本市「千産千商2010」開催

業者や市民八百人が参加

聖徳大学短期大学部と千葉興業銀行との連携協定に基づき、中核事業として九月十日(金)、聖徳大学松戸キャンパスで千葉県産食材見本市「千産千商2010」が開催されました。見本市には、県内の食材関連企業十



短大生製作の料理・菓子の試食コーナー

六社が参加して自社製品を展示・即売したほか、総合文化学科の学生が出展企業などの食材を使って、料理やお菓子を調理・製作し、参加



食材関連企業の出展コーナーのにぎわい

いざ千葉県体! がんばれ聖徳選手団



地元、千葉県で九月二十五日(土)から開幕中の第六十五回国民体育大会「ゆめ半島千葉県体」に、大学・附属高校の選手が出場しています。

九月二十二日(水)には、大学にて壮行会が行われ、川並弘昭学園長より温かい激励の言葉を授けました。九月二十五日(土)の総合開会式では、式典音楽隊の指

揮を音楽学部演奏学科の関根剛二教授が担当、式典前演技に附属女子中学校・高等学校ダンス部が出演

した食材関連業者や一般市民約八百人に提供しました。また、見本市と並行して、料理評論家・木村まさ子さんの「育み、はぐくまれ」と題する講演が行われ、木村さんは約五百人の聴衆を前に「親と子の関わりは生きる力を育む宝である」と育児や食育の大切さについて熱く語りました。



木村氏の講演

「千葉産品を広める協力をしたい」と川並学園長。当日は午前十時半に、川並弘昭学園長、青柳俊一千葉興業銀行頭取が、大学八号館クリスタルホールの見本市会場で行われたオープニングセレモニーに出席。

出展企業の方々に前に、まず青柳頭取が「見本市開催に当たっては企画、運営からレシピ開発、調理にいたるまで聖徳大学短期大学部に大変お世話になりました。企業の皆さんは、この取り組みを今後の事業展開に生かしていただきたい」とあいさつ。



青柳頭取

引き続き、川並学園長が「私もとしましてはお手伝いをするというより、あらゆる機会を通じて千葉県の産品が全国に広まるための協力をしたい。本日の取り組みをもいえるイベントです。」



川並学園長

聖徳祭 Information 2010

今年も、各校・各園でいろいろな催しが行われます。皆さまのお越しをお待ちしております。

今年も学生から聖徳祭のポスターに採用する作品を公募したところ、六十八点もの作品が寄せられ、佐藤えり奈さん(人文学部生涯教育文化学科三年)の作品が見事「金賞」に輝き、ポスターへの採用が決まりました。

今年も学生から聖徳祭のポスターに採用する作品を公募したところ、六十八点もの作品が寄せられ、佐藤えり奈さん(人文学部生涯教育文化学科三年)の作品が見事「金賞」に輝き、ポスターへの採用が決まりました。

聖徳祭 Information 2010

今年も、各校・各園でいろいろな催しが行われます。皆さまのお越しをお待ちしております。

今年も学生から聖徳祭のポスターに採用する作品を公募したところ、六十八点もの作品が寄せられ、佐藤えり奈さん(人文学部生涯教育文化学科三年)の作品が見事「金賞」に輝き、ポスターへの採用が決まりました。

カヌー競技

成年女子カヌー スラローム カヤックシングル
齋藤 真智子
(大学児童学部児童学科 小学校教員養成コース3年)

陸上競技

少年女子A100m
森川 葵
(附属取手聖徳女子高3年)

陸上競技

少年女子共通 棒高跳
山内 裕香
(附属取手聖徳女子高2年)

フェンシング競技

少年女子 フルーレ【補欠】
木下 天
(附属女子高3年)

体操競技

少年女子 競技【補欠】
山田 あゆみ
(附属女子高3年)

しました。また、同中学校・高等学校後援会合唱団「アコール聖徳」も合唱隊の一団体として登場しました。十月五日(火)の総合閉会式も音楽隊の指揮を関根教授が担当、式のオープニングアトラクションに附属女子高等学校バトンド部が出演、また、開会式でも活躍したアコール聖徳も再登場します。

熱い声援をよろしくお願ひします。

第46回 聖徳祭

2010年11月6日(土)・7日(日)
10:00~15:30

今年も学生から聖徳祭のポスターに採用する作品を公募したところ、六十八点もの作品が寄せられ、佐藤えり奈さん(人文学部生涯教育文化学科三年)の作品が見事「金賞」に輝き、ポスターへの採用が決まりました。

聖徳祭 Information 2010

今年も、各校・各園でいろいろな催しが行われます。皆さまのお越しをお待ちしております。

今年も学生から聖徳祭のポスターに採用する作品を公募したところ、六十八点もの作品が寄せられ、佐藤えり奈さん(人文学部生涯教育文化学科三年)の作品が見事「金賞」に輝き、ポスターへの採用が決まりました。

第三十四回
ピティナ・ピアノコンペティション
全国決勝大会
未来のピアニスト四人に
聖徳大学川並賞を授与

第34回 ピティナ・ピアノコンペティション
全国決勝大会 表彰式



左より、佐藤さん、平間さん、原教授、渡邊さん、横山さん

聖徳大学では、音楽学部において音楽の専門教育を行い、児童学部および短期大学部保育科で、児童・幼児教育者養成の一環として、学生のピアノ教育に特に力を入れています。本学では、ピティナ・ピアノコンペティションに協賛し、ピアニストを目指す若者たちの励みになるよう

と考へ、その中で特に優秀な演奏者に「聖徳大学川並賞」を授与しています。八月二十三日(月)に開催された全国決勝大会表彰式において、聖徳大学川並賞が音楽学部演奏学科・原佳教授より授与されました。受賞された四名の方々から喜びの手紙が届きましたので紹介します。

今年で第三十四回を迎えた「全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)主催によるピアニストコンペティション」が開催され、全国各地で約四万人の参加者による地区大会にて選ばれた若きピアニストたちが、八月十九日(木)から三日間、東京での全国決勝大会で熱演を繰り広げました。

この度は、聖徳大学川並賞を頂戴いたしました。誠にありがとうございました。私には、音楽の道へ進むことを決めて、日々、自分なりに努力しております。音高へ進みたくて受験しましたが、力及ばず地元の普通高校に通いながら音楽の勉強を続けております。(福島に音高がないからです)大学こそは、音楽専門に勉強できる環境を、と希望しております。今回頂戴いたしましたありがとうございます。これからの勉強の際に、大切に使用させていただきます。ありがとうございました。

●ソロ部門F級(高等学校三年生以下の部)

平間今日志郎さん(大阪府)
この度は貴社ご協賛のピティナ・ピアノコンペティション全国決勝大会のF級において金賞、そして「聖徳大学川並賞」を受賞させていただきました。大変光栄に思っております。これを機にまた一層精進したいと思っております。まずは取り急ぎ御礼を申し上げます。

渡邊咲季さん(神奈川県)

この度は、このような素晴らしい賞を頂くことができて大変嬉しく光栄に思っております。全国大会では緊張もしましたが、憧れていた浜離宮朝日ホールで弾かせて頂けるという事で、演奏を楽しむことができました。今後もいろいろな経験を大切に、音楽を真剣に勉強していきたいと思っております。ありがとうございました。

佐藤優さん(福島県)

この度は、聖徳大学川並賞を頂戴いたしました。誠にありがとうございました。私には、音楽の道へ進むことを決めて、日々、自分なりに努力しております。音高へ進みたくて受験しましたが、力及ばず地元の普通高校に通いながら音楽の勉強を続けております。(福島に音高がないからです)大学こそは、音楽専門に勉強できる環境を、と希望しております。今回頂戴いたしましたありがとうございます。これからの勉強の際に、大切に使用させていただきます。ありがとうございました。

●グランミュージック部門A1(二十三歳以上音楽愛好者の部)

横山智一さん(東京都)

この度は、二〇一〇年度ピティナ・ピアノコンペティショングランミュージック部門A1カテゴリー第一位の受賞に伴い、聖徳大学川並賞及び、褒賞金をいただき、大変嬉しく思います。今後の研鑽の為に、大切に使用させていただきます。心より厚く御礼申し上げます。

研究所リレー連載 所長の伝言板(第三回)

学生が活躍する分野の研究開発に挑戦したい



聖徳大学
生涯学習研究所長
福留強
教授

「生涯学習社会」という言葉をお聞きになったことがありますか。人々が望めば、いつでも、どこでも、誰でも自由に学ぶことができる社会。そして、どこで学んでもその成果が正当に評価される社会。それが生涯学習社会と呼ばれるものです。

平成十年十月、生涯学習の推進やまちづくりに関する研究、資格に関する研究調査、大学を活用した学

び直しに関する研究などを推進するため、「聖徳大学生涯学習研究所」が発足いたしました。



「楽習フェスタ2010 ~第12回聖徳大学生涯学習フォーラム~」の様子

また、最近では、企業等と連携して資格の開発にも取り組んでいます。中でも、観光立国政策における「旅の型観光の主役となる「旅のもてなしプロデューサー」という民間資格が注目されています。この資格を取得することにより、旅行業従事者や専門の機関・大学以外の一般の人たちも「旅程管理主任者(国土交通大臣認定資格)」の研修を受講することが可能になりました。「旅のもてなしプロデューサー」の資格を取得した本学の学生も、「旅程管理主任者」に合格し、観光・旅行関連の企

聖徳大学大学院 教職研究科 教職大学院ニュース 第10回

連携協力校(園)の紹介 Vol.7

前回に引き続き、教職研究科の学生が総合実習の授業において、学校経営や教育活動を総合的に体験する連携協力園を2つ、協力校を2つ紹介します。

- 市川市立大洲幼稚園 園長：梶山 祐一
所在地：千葉県市川市大洲4-3-12 Tel:047-370-3648
●「心豊かな幼児を育てるために～豊富な体験・地域との交流をとらして～」を研究主題に、発達段階にあった指導の充実を目指した、授業研究を行っている
●日々の保育においてもさまざまな交流活動を通して保育の向上を目指している
●教員数 10人 ●学級数 5 ●園児数 135人
- 市川市立南行徳幼稚園 園長：齊藤 雅代
所在地：千葉県市川市欠真間1-6-15 Tel:047-358-5333
●「一人ひとりの育ちに応じた指導のあり方を考える」を研究テーマに、園児たちの発達を促す環境のあり方を考え、個に応じた指導を大切にしている
●特別支援学級の園児は、通常学級との交流を通して、行動治療を行っている
●教員数 16人 ●学級数 9 ●園児数 296人
- 市川市立稲越小学校 校長：本多 成人
所在地：千葉県市川市稲越町518-2 Tel:047-373-8401
●小規模校の特性を生かした教育課程の編成をしている(稲越小学習メソッド[ともだちいっぱい名人・漢字読み名人・漢字書き名人・計算道場]、家庭学習のきまりと家庭学習カレンダー、寺子屋教室、異年齢集団活動の実践等)
●「一人ひとりの読む力を深めるために～豊かさや確かさの追求～」を研究主題とし、読みの力を深めるためのさまざまな手立てを学習に取り入れ、検証授業を行っている
●教員数 10人 ●学級数 6 ●児童数 149人
- 市川市立鬼高小学校 校長：山崎 繁
所在地：千葉県市川市鬼高2-13-5 Tel:047-335-0304
●「読書いっぱい・歌いっぱい・スポーツいっぱい・花いっぱい」を教育活動の柱とし、特に「読書いっぱい」を重点に据え、読書教育に力を注いでいる
●毎年7月に実施される「おにたかまつり」は、学校と地域が一体となり、児童の健全育成を目指した行事であり、鬼高小学校の大きな特色の一つとなっている
●教員数 43人 ●学級数 32 ●児童数 1026人

第四十三回 SEITOKU 夏期保育大学開催 全体会講師に「のっぽさん」を迎えて



高見のっぽ氏

七月二十四日(土)、夏の恒例行事「第四十三回SEITOKU夏期保育大学」が開催されました。今回は、「子どもの心くみつめる、ふれる、ともに」を総合テーマに掲げ、連日の猛暑日にもかかわらず、当日は、幼稚園、保育園の先生方を中心に約六百七十名の参加がありました。

生涯学習研究所の活動は地味ではありますが、今後新しい分野の研究を進め、特に学生が活躍する分野の研究開発に挑戦していきたいと考えています。

次回は、心理教育相談所が登場します。

「大人が子どもと接するときには、彼らに敬意を示し、丁寧に接すること」の大切さを伝えていました。講演後は、高見氏等による、受講者を舞台上上げての工作実演や、本学学生が賛助出演しての手話コーラスが行われ、会場は笑顔と感動に溢れていました。



「第9分科会・人形を作ってあそぼう」で完成作品を手に

師・受講者同士が交流を深めながら、保育の技能や実践力を高め、充実したひとときとなりました。

二大書道展で 読売書法展で 過去最高二名 入賞

入賞

国内最高レベルの書道展である「第二十七回読売書法展」が、八月二十日(金)から二十九日(日)まで、国立新美術館およびサンシャインシティ文化会館で開催されました。

また、学生書道のグランプリである「第十五回全日本高校・大学生書道展」が、八月二十四日(火)から二十九日(日)まで、大阪市立美術館で開催されました。

今年も、人文学部日本文化学科書道文化コースの学生が、読売書法展(総出品数は二万八千四百三十三点)で過去最多の十一名が入賞・入選、全日本高校・大学生書道展(総出品数は一万八千六百八十八点)で七名が上位入賞する快挙を果たしました。書道芸術の将来を担う学生たちの作品を紹介します。

第二十七回 読売書法展
(読売新聞社、読売書法会主催)

〈秀逸〉

郷野 多恵子さん(四年)
小関 保奈美さん(三年)

〈入選〉

小田 麻里子さん(四年)
黒澤 亜純さん(四年)
佐々木 舞さん(四年)
三幣 素子さん(三年)
野中 亜紀子さん(三年)
坂内 里奈さん(三年)
山崎 まゆさん(三年)
今野 加奈子さん(二年)
山中 百合恵さん(二年)

第十五回

全日本高校・大学生書道展
(読売新聞社、日本書院主催)

〈書道展賞〉

郷野 多恵子さん(四年)
山中 百合恵さん(二年)

〈優秀賞〉

小田 麻里子さん(四年)
黒澤 亜純さん(四年)
小関 保奈美さん(三年)
山崎 まゆさん(三年)
今野 加奈子さん(二年)

第27回 読売書法展 入賞・入選作品



山中 百合恵
小関 保奈美
郷野 多恵子

新米 大杉が行く! シリーズ No.5
高原の大自然の中で、一生の仲間づくり
学外研修Ⅰ
(志賀高原夏山旅行)



① 自然のクーラーの中でハイキング

研修では、森林浴を満喫。二日目には、県の天然記念物である田の原湿原を含む、所要時間約一時間半、距離五kmの自然探勝コースをハイキングしました。この時期、東京は猛暑でしたが、高原は二十℃前後となんと贅沢な気候でした。学生たちは、普段接することがない木道に苦戦していましたが、次第に足も軽くなりました。



約800名の学生が列をなして進む姿は壮観です

本学の建学の精神「和」を学ぶ聖徳教育の一環として、大、短期大学の一年生を対象に「学外研修Ⅰ」が八月下旬から九月初旬までの期間、実施されました。この研修は、長野県志賀高原にて三泊四日、社会人となるための規則正しい団体生活を通じて、自制心を養い、他人に対する思いやりの気持ちを涵養することが目的です。今回、大杉が八月三十日(月)から九月二日(木)まで実施された研修の第一班(児童学部、短大部保育科)に同行しました。



すべてのボートが出たために丸池は渋滞していました

研修では、森浴を満喫。二日目には、県の天然記念物である田の原湿原を含む、所要時間約一時間半、距離五kmの自然探勝コースをハイキングしました。この時期、東京は猛暑でしたが、高原は二十℃前後となんと贅沢な気候でした。学生たちは、普段接することがない木道に苦戦していましたが、次第に足も軽くなりました。

② 夜も仲間と歌って、踊って

このほかにも、一日目のキャンプファイヤーでは、志賀の夜空の下、フォークダンスを踊ったり、二日目のクラス対抗のかくし芸大会で踊りや歌、演奏を披露するなど、朝から夜まで、学生が教員と一緒に楽しんで時間を共有していました。また、裏方ながら全日程を通じて、クラスごとの生活委員や室長の学生が点呼からスケジュールの連絡までをこなして研修を支えました。学生にとっては、大変な面も時折見られましたが、ここで学んだことが、学生自身がリーダーシップをとるようになった時に生きてくるのだらうと感じました。

総合文化学科では、八月二十八日(土)、大学十号館にて、卒業生のキャリア支援を目的とした「第三回ピソニエ・ウーマンの会」を開催しました。今年は二十二名の卒業生と約三十名の教職員が参加し、恩師や友人と旧交を温めました。

この会はキャリア支援室の協力を得て、卒業生自らが案内状の作成や会場の飾り付けをし、ビンゴゲームを取り入れる等のプログラムの内容を決め、運営しています。



恩師と卒業生たち

最初に、毎年恒例の近況報告があり、卒業生を代表して五名のピソニエ・ウーマンからは、「ファッションブランドで学んだことを生かして」パタンナーの仕事をしている「IT業界は今、苦しい状況なので、皆で協

梨の求肥(ぎゅうひ)もち

材料:(8人分)
白玉粉:200g
梨のピューレ:240g
水:100g
グラニュー糖:400g
梨のピューレ:100g
片栗粉:30g
和三盆糖:150g

作り方

- [1] 白玉粉に梨のピューレ(240g)と水を加えて練る。
- [2] 蒸し器にぬれ布巾を敷き、[1]を流し入れて蒸す。(15分)
- [3] 蒸し上がった生地を鍋に移し、梨のピューレ(100g)を少しずつ加えながら加熱して生地を柔らかくする。
- [4] 加熱して生地を練りながら、グラニュー糖(水あめ)を少しずつ加え、粘りのある求肥に練り上げていく。
- [5] 型に片栗粉と和三盆糖を合わせた物を敷き、出来上がった求肥を入れて常温で冷ます。
- [6] 冷めたら一口大に切り、片栗粉入り和三盆糖を全体にまぶす。

千産千商2010 オリジナルレシピの紹介

今回は、千葉県産食材見本市「千産千商2010」に登場した、総合文化学科製菓ブランドの学生のオリジナルレシピの中から、「梨の求肥もち」を紹介します。

一口メモ
松戸名産の白玉粉と市川の梨で求肥もちにしました。千葉県特産の梨を使用し、優しい甘さに仕上がりました。

特別展覧会 会期延長!!
「没後110年 トゥールーズ=ロートレック」展

聖徳大学開学20周年および人間栄養学部新設を記念し、本学所蔵の学術コレクションの中から、フランス後期印象派の画家ロートレックの作品を展示しております。



“エスタンプ・オリジナル”誌の表紙(1893年)
会場/聖徳大学8号館1階ギャラリー
会期/11月30日(火)まで

お問い合わせ 聖徳大学川並記念図書館 TEL.047(365)1111 [大代]

幼児教育専門学校

志賀高原でストレス軽減

学外研修Ⅰ



春日の森セラピーロードにて

八月二日(月)から四日(水)にかけて、一部一年生と二部一年生は、セミナーハウス・かすが荘(長野県佐久市)にて、「学外研修Ⅰ」を行いました。この研修の目的は、集団生活の中で自他を養い、自分自身を見極めることですが、教員や同級生との親睦を図ることや、自然環

境や地球環境への関心を深めることも目的としています。初日は、白樺湖で自主見学をした後、入村式、キャンプファイヤーを囲んでのフォークダンスという内容でした。学生一人ひとりが研修の目的を理解し、楽しんでいく様子が見られました。二日目は、「春日の森セラピーロード」を散策しました。出発前と後に、唾液に含まれるアミラーゼを測定し、「森林を歩くことが体のストレスを軽減させる効果がある」ことを科学的に確かめることができました。屋外でのバーベキューで満腹になった後は、陶芸教室

に参加しました。講師の方々に指導を受けながら、それぞれ思い思いの作品作りができました。その後のクラスアワーでは、グループディスカッションやドッジボールでクラスの親睦を深めることができました。最終日は、浅間山のふもとへの鬼押し出し園を見学した後、おぎのや横川本店で釜飯の昼食を取り、帰途につきました。天候にも恵まれ、学生の笑顔も絶えない充実した研修となりました。ある学生は、「専門学校は、社会に出てすぐ働くことのできるように学生を育て、訓練するところなのだ」と実感しました」と感想を述べていました。

附属女子中学校・高等学校

十年目の姉妹校

MLC交換留学



MLCスクールの正門

今年で十回目の節目を迎える姉妹校であるオーストラリア「MLCスクール」への交換留学は、六月一日

(火)から十一日間の短期に六名、六十八日間の長期に二名が参加しました。現地時間の早朝六時、シドニー空港に到着し、MLCスクールで日本語の授業を担当しているアロン先生の出迎えを受け、学校へと向かいました。校内や学校生活の説明を受け、ホームステイ先のホストファミリーと緊張の面持ちで対面を済ませると、すぐにスクールでのプログラムがスタートしました。始めはなかなか雰囲気になれなかったが

（火）から十一日間の短期に六名、六十八日間の長期に二名が参加しました。現地時間の早朝六時、シドニー空港に到着し、MLCスクールで日本語の授業を担当しているアロン先生の出迎えを受け、学校へと向かいました。校内や学校生活の説明を受け、ホームステイ先のホストファミリーと緊張の面持ちで対面を済ませると、すぐにスクールでのプログラムがスタートしました。始めはなかなか雰囲気になれなかったが



ブルーマウンテンにて

は、イギリス語学研修に行きました。オックスフォードのウエストミンスターカレッジには、さまざまな国の生徒たちが集まり、英語の勉強をしています。生徒たちは、最初は英語を聞き取るのに精いっぱいでしたが、自分から会話をすることで、積極的に話せるようになりました。先生のリッスンや働きかけで少しずつ積極的になっていき、研修が終わるころには、多くの国の生徒たちと仲良くなり、メールアドレスを交換するなどしてコミュニケーションを取っていました。週末は、エクスカーストンでウィンザー城やストラッドフォードアポニエイボ

期間中には、スクールの計らいもあり、シドニー近郊の国立公園である「ブルーマウンテン」への一日観光に出かけました。オーストラリアの雄大な自然を満喫するとともに、日本では考えられない規模の風景に一同圧倒されました。生徒たちは大自然に囲まれた中で、多民族国家らしく活気に溢れた町並みや文化等、多くのことを感じ、学ぶことができました。姉妹校締結から十年間、発展させていきます。

リズム講習会

保育界に定着



体育館でリズムカルに体を動かす参加者たち

ひじり会の大きな活動の一つである「夏期リズム講習会」は、今回で二十九回目となります。今年八月二十九日(日)、聖徳大学体育館にて開催されました。猛暑にもかかわらず、附属幼稚園の教員を含め、幼稚園、保育園の現場で活躍している先生方が約百八十名参加し、活気のある講習会となりました。

短期大学部保育科の中野真紀子准教授の指導の下、「楽しい表現あそび2010」のテキストに沿って、参加者は生き生きとした新しい動きと大きな表現で踊りを展開しました。一曲終わるたびに周りの参加者とはほ

笑みを交わすなど、子どもの気持ちになつて楽しんでいました。参加者からは、「今回で四回目。毎年参考にしています。保育に活用できるものがたくさんあります」「中野先生の講習を受けることができるといいですね。いい汗かきました。卒業生でよかったです」などの声がありました。

同級生の絆を深める北海道研修旅行

ひじり会研修旅行が、八月二十日(金)から二十三日(月)までの間、三泊四日で行われました。東京の猛暑を離れ、北海道の涼風の中で過ごしました。特に、函館の昼の風景と夜景は共に美しく、印象的でした。先輩・後輩で心豊かな時間を過ごせたことが、参加者の声や笑顔からうかがえました。

後期(二学期)授業がいよいよ始まりました。本校では前期(一学期)に引き続き、保護者に対して、すべての授業や行事を開放し、授業見学を実施します。授業見学終了後は、担任との面談も行うことができます。本



ソーラン節で盛り上がった最終日の夜

また、最終日の夜のジャパndeイでは、各班ごとに日本文化を紹介し、さらに、プログラムの最後には、はつぴを着てソーラン節を踊りました。観衆も巻き込んで、大変盛り上がりました。修了式では、先生方からの「本当によい生徒たちでした。もう少しここで勉強を続けてほしい。また、戻っておいで」との言葉に、生徒たちは涙を見せながら、修了証を受け取っていました。「また必ずイギリスに行きたい」と、十二名全員が言っていました。とても充実した二週間となりました。

修了式にて

〈後期(二学期)授業見学の日程〉

実施期間 平成22年9月21日(火) ~ 平成23年1月14日(金)
見学時間 1時限目~7時限目 全授業

※土曜日は、実習オリエンテーションおよび補講などを実施いたします。不定期になりますので、お問い合わせの上、お申し込みください。

- 「授業見学申し込み書」でお申し込みください。
- ご質問・お問い合わせは、本校学生サポートセンターまでお気軽にご連絡ください。

Tel:03-5476-8811
Fax:03-5476-8820

保護者の授業見学を実施します

(専門学校)

七月九日(金)から二十四日(土)までの期間、附属女子高等学校の生徒十二名の教育実習が、本校で実施されています。保護者の皆様、ぜひ授業見学にご参加ください。

七月九日(金)から二十四日(土)までの期間、附属女子高等学校の生徒十二名の教育実習が、本校で実施されています。保護者の皆様、ぜひ授業見学にご参加ください。

七月九日(金)から二十四日(土)までの期間、附属女子高等学校の生徒十二名の教育実習が、本校で実施されています。保護者の皆様、ぜひ授業見学にご参加ください。

取手聖徳女子中学校・高等学校

勉強漬けの三日間を支え合つて 筑波山勉強合宿

八月十六日(月)から十八日(水)まで、筑波山江戸屋を会場に勉強合宿を行いました。二学期最初の実力テストで点数を取れるようにすることが目的です。昨年度は、中学と高校は場所も日程も別でしたが、今年度は中高合同での実施でした。

中学と高校がそろつて活動するわけではなく、中学は自学自習が中心、高校は講義が中心という形式で学習に取り組みました。家庭ではなかなか勉強できない生徒も多いですが、環境が変わったこともあり、どの生徒も集中して勉強していました。

今回の合宿では、三日間で二十二時間以上の学習時間を取る事ができました。早起きをして、朝食の前などに自主学習をしている生徒もいたので、そういった生徒はさらに多くの学習を



英語の授業に臨む生徒たち

今年の勉強合宿はセンター試験対策を中心とした授業が行われ、さらに自主学習の時間が設けられ、まさに勉強漬けの三日間でした。センター試験対策ということで、問題も難しく、精神的にも厳しい合宿でした。しかし、クラスみんなが励まし合いながら、三日間を無事乗り切ることができました。

今回の合宿を通して、学習内容の理解はもろろん、自分の勉強に対する姿勢の見直し、クラスで支え合ふことの大切さを再確認することができました。これからも、クラス全体でお互いを支え合い、磨き合いながら勉強できる環境をつくり、受験に臨んでいきたいと思えます。

高校二年 古内怜奈

附属小学校

第五十二回千葉県吹奏楽コンクール

銀賞受賞

附属小学校は、七月三十一日(土)に行われた「第五十二回千葉県吹奏楽コンクール」(小学校Bコンクール部門)組で、銀賞を受賞しました。

毎年、全国各地で吹奏楽コンクールが行われていますが、中でも千葉県は「吹奏楽王国」といわれるほど吹奏楽が盛んで、どの学校も本番に向けて厳しい練習を積み重ねています。ところが、本校の場合、朝の三十分間しか練習できないという制約があり、公立学校の半分以上の練習量でコンクールを乗り切っていくには、少ない時間でもいかに効率よく練習を進め

ていくかということ、また、一人ひとりがいかに意識を高く持つかということが重要になります。そこで、今年度はパートごとのレッスンを中心にし、精度を上げる努力をしてきました。

大学附属の小学校である本校の最大のメリットは、聖徳大学との連携です。七月二十日(火)、二十七日(火)の二日間、音楽学部の教員が来校し、特別レッスンが行われました。プロのオーケストラをはじめ、さまざまなステージで活躍する大学教員による



コンクール会場の千葉県文化会館前にて

願いよ、天にとどけ 七夕まつり

七月六日(火)、附属小学校創立当初からの伝統行事である「七夕まつり」が開かれました。当日は大勢のお客様をお迎えし、七夕にまつわる歌や合奏、ミュージカル七夕の発表などが行われました。

日本の伝統行事である七夕は、天の川をはさんで離ればなれになった織姫と彦星が、一年に一度だけ会うことを許されるというすてきな伝説が語られ、昔から願いを天に託す風習が行われてきました。そのよき伝統を取り入れ、本校の総合学習活動としてつくり上げたのが「七夕まつり」です。

会場の体育館には一年生から六年生まで計六本の笹竹が飾られ、その笹には児童たち一人ひとりが願い事を



七夕の笹竹が飾られた体育館

したためた短冊が付けられています。「一りん車にじょうずにのれますように」「おいしやさんになってびょう気の人をなoshたい」…、児童によって願いはさまざまです。

「たなばたさま」斉唱、「きらきら星変奏曲」合奏が

終わると、次はいよいよメインイベントである「ミュージカル七夕」の発表です。このミュージカルは、元本校教諭の岩上廣志先生の作によるもので、本校独自の音楽・歌・演技が融合したものです。一年生から六年生までの代表児童や音楽委員会が練習を重ね、まさに全校が一体となつてつくり上げるミュージカルです。織姫と彦星が天の川の怒りに触れて引き離され、一年に一度だけの再会が果たされる感動的なストーリーを、児童たちが熱意を込めて表現します。終演後、会場からは惜しめない拍手が送られました。

「願い」は人を動かす原動力です。児童たちは、自身の願いを胸に秘めつつ、日々の学習や生活にいそしみ、健やかに成長していきます。

幼稚園短信

三田幼稚園

夏休みの思い出 「夏休み作品展」

夏休みに入る前、園児たち「お休みになったら何して遊ぶのかな?」と尋ねると、「海に行く」「プール



園児たちで遊ぶおもちゃ作り

に行く」「田舎に行く」「パパとママとお出かけする」などと思いきいの言葉が返ってきます。

ご両親もお仕事をされているのでなかなか時間が取れなかったり、赤ちゃんが生れたばかりで出かけることができなかったり

と家庭の事情はさまざまですが、園児たちにとっては待ちに待った楽しい夏休みです。そこで、長い休み中に作ったり、描いたりした作品を二学期早々の土曜日に展示し、親子で見学する「夏休み作品展」を毎年行っています(今年度は九月四日(土)に実施しました)。

八王子中央幼稚園

心と心 「敬老の日の集い」

毎年九月におじい様、おばあ様をお招きして、「敬老の日の集い」を行っています(今年度は九月十四日(火)に実施しました)。この日を楽しく遠方より足を運んでくださる方がたくさん見られます。

当日は、年長児が挨拶係・プログラム係・案内係・進行係等の係りを一人ひとりが責任を持って務め、迎え入れから会の進行まですべてを行います。そして、学年ごとの歌や合奏・踊りを披露し、その後はおじい様、おばあ様と十分にスキンシップをとりながら、ゲーム

や肩たたき・リズム遊び等を楽しみます。中には、おじい様、おばあ様が来られない園児もいますが、友達のおじい様、おばあ様が自分の孫だけでなく、一人ひとりを優しく見守り、一緒に遊んでくださり、園児たちも大満足です。おじい様、おばあ様の笑顔、そして、園児たちの笑顔でいっぱい

そしてこの日は、園児たちが作ったプレゼントを「いつもありがとうございます。いつでも、お元気でいてください」と感謝の気持ちや伝えながら渡しています。年に一度のこのようなすてきな会をこれからも続けて行きたいと思っています。



おじい様、おばあ様とゲームをする園児たち

多摩中央幼稚園

秋の遠足
(年中・年少組)

毎年、年中組年少組の秋の遠足は、「府中市郷土の森博物館」に行きます(今年十月十五日(金)に実施します)。二学期は、園児たちが楽しみにしている行事が多く、その一つが秋の遠足で



府中市郷土の森博物館の芝生広場で遊ぶ園児たち

「遠足?」と、園バスに乗れることがうれしくてしょうがない様子です。また、園バス登園の園児たちも「バスで隣になるといいね」「一緒に座ろうね」などと、クラスの友達と一緒に乗れることを楽しみにしている姿があらわら見られます。

年中組は、昔の建物を見学し、昔の小学校の雰囲気に触れたり、現在の建物との違いに気付いたり、散策をしながら秋の草花を発見したりします。一方、年少組は、園庭よりも広い芝生広場で思い切り遊んだり、どんぐり拾いをしたり、とんぼを追いかけたりして秋の自然を体験します。園児たちが新しい発見をしたり、楽しい経験ができたよう天気が晴れることを願うばかりです。

附属幼稚園

おいしくて楽しかった
「ポテトパーティー」

七月十四日(水)、五歳児は友達や家族の方々と一緒に「ポテトパーティー」を開きました。ここで使うジャガイモは、まだ四歳児だった進級前、二月二十三日(火)

に二十世紀が丘の畑に種芋を植え、百三十三日目の梅雨明け間近の七月五日(月)に収穫したものです。この活動は、育てたジャガイモの収穫を喜び、その芋を調理してもらい、友達や家族と楽しく過ごすことを狙いとしています。園児たちは、「ジャガイモがどのように育つか」について、絵本や図鑑で知っていたも、実際に土に触れ、体験してみると、芋のなり方や大きさ、葉や茎の形や色を見て、さらに、ダンゴ虫やアリ等にも出会い、新たな発見がたくさんあったようです。パーティーでは、園児たちがジャガイモを植え、収穫した時の思い出をクラスごとに発表しました。また、芋が大きくなる様子や掘った時のことを作詞作曲して歌を作ったり、フォークダ



ジャガイモ収穫祭に参加する保護者の方々

ガイモが贈られました。その後は、ポテトサラダや芋煮、ポテトケーキ、ポテトチップ等に变身したジャガイモをおいしく頂きました。長期にわたり興味関心を継続させる難しさはありましたが、自然体験が少なくなつた現代だからこそ大切にしたい活動の一つになりました。



収穫したジャガイモを料理しておいしくいただきました

八月四日(水)、盆踊り会が行われました。幼稚園の園庭の真ん中にやぐらが組まれ、たくさんのお友だちと一緒に明かりがともり、そこへ浴衣や甚平を着た園児たちが保護者の方と一緒に集まってきました。浴衣姿の先生たちに恥ずかしそうに挨拶をしたり、うれしそうに浴衣を見せてくれたり、いつもと違った園児たちの表情を見ることができました。



さまざまな色柄の浴衣姿で園庭を彩る園児たち

「アンパンマン音頭」「ドラえもん音頭」「ポケモン音頭」など、園児たちの好きな曲を楽しく元気に踊り、最後は「聖德音頭」で締めくくり、たくさんのお友だちと一緒に二年度の盆踊り会を終えました。この盆踊り会で夏期保育も終わり、長い夏休みに入りましたが、けがや事故なく、九月から園児たちは元気な笑顔を見せて登園しています。

毎年実施している夏期保育「なつのおうちえん」三日の八月二日(月)に、年中組の宿泊保育が実施されました。宿泊保育を心待ちにしていた園児、緊張していた園児、不安感でできれば参加したくないと思っていた園児など、期待の中にも複雑な心境が、お母様方の情報から伝わってきました。当日十五時過ぎると、猛暑の中、大きな荷物を持った園児たちが次々と登園。玄関で先生に迎えてもらい、荷物の整理を終えるとすぐに、友達と一緒にいつもの異なる雰囲気の中を



保育室で就寝する園児たち

探検したり、製作あそびをしたりと思いに過ごしました。夕食の時間は全職員が一緒に加わり、和やかな雰囲気の中で食べることで徐々に緊張感がほぐれて、いつもの笑顔を取り戻していました。夕食後は、いよいよキャンプファイヤーです。火の由来や大切さについての話を静かに聞き入っていると、たいまつを持ったインディアン登場。みんな目を丸くし、口を開けたままの驚きの表情が印象的でした。火を囲んで歌を歌ったり、先生たちの劇を見たり、連発打ち上げ花火を見たりと、楽しいひとときを過ごしました。その後、保育室に入り、手際よく就寝準備を済ませて布団に入ったものの、ホールでみんな寝ると

附属浦安幼稚園

夏のようちえん

真夏の太陽が照りつける、八月一日(日)から五日(木)に夏期保育が行われました。一日目は、園児たちの大好きな「プール遊び」を実施しました。



園庭に登場したプールではしゃぐ園児たち

が見られました。今年の夏は、全国的に熱中症になる人が多く出ていることも考慮して、プール遊びをした後でも、水分を十分取るように気を付けました。しかし、プールの中の水遊びでは、どの学年も園児たちの目は生き生きと輝いていました。夏の幼稚園は、すいか割り大会、キャンプファイヤー、花火、お泊り会、盆踊りと、夏しかできない経験が盛りだくさんでした。これからも教職員一同で、園児たちの心に残る幼稚園での夏の思い出となるように、綿密な計画と実践をしていきたいと思ひます。

しかし、泊まった翌日には、一つのことをみんな協力して取り組む大切さを学んだり、身の回りのことを自分でする重要性を学ん

だりと、心身共に成長した姿が見られました。宿泊保育は、園児の安全健康管理面でも神経を使いますが、この経験が園児たちの幼稚園時代のよき思い出、心の財産になるように願っています。

「東京聖徳学園創立七十五周年記念事業募金」 寄付者芳名一覧

平成二十一年九月〜平成二十二年八月(寄付分)

●取引業者関係

有田建設株式会社 代表取締役社長	山口 光男
株式会社セイフコーホレーション 代表取締役社長	山口 光男
株式会社石本建築事務所 代表取締役社長	石井 誠
京葉ガス株式会社 取締役社長	佐久間 信夫
株式会社ワーブプランナーオブジャパン 代表取締役	荷口 優
株式会社日本廣告社 代表取締役社長	川相 貴由
大成造園株式会社 代表取締役社長	大成 白歩
株式会社小川防災 代表取締役	小川 一
株式会社創美アムニティ 代表取締役	山形 晴樹
日警備保障株式会社 代表取締役	濱野 巨秀
セントラル総合開発株式会社 代表取締役社長	福本 統一
花喜園 代表	花木 常明
有限会社こうゆう企画 代表取締役	坂本 孝一
株式会社エコマックス 代表取締役	高橋 栄一
荷口 優	様
河野 正次	様

●大学後援会関係

安藤 榮一	様	遠藤 淳一	様
長田 守弘	様	葉 正良	様
小山 光二	様	櫻井 秀雄	様
佐藤 清治	様	中嶋 達朗	様
千代 正夫	様	福井 英人	様
馬場 克夫	様		
山口 隆司	様		
品川 進	様		
今井 晴美	様		
佐藤 明志	様	五月女 恵	様

●聖徳大学言語文化研究所連続講演会関係

聖徳大学言語文化研究所 連続講演会参加者有志一同	様
-----------------------------	---

●附属女子中学校・高等学校関係

青野 道一郎	様	青柳 尚志	様
阿部 信也	様	阿部 伸一	様
安藤 和典	様	天內 憲一	様
石井 清源	様	池田 直喜	様
板倉 博	様	石井 宏太郎	様
伊藤 信一	様	今西 義明	様
今福 龍一	様	岩部 利成	様
梅澤 正憲	様	大木 忠明	様
大下 稔	様	小川 さつき	様
岡野 弘美	様	小野 賢一	様
小田 正宏	様		
恩田 和良	様	柏沼 清一	様
相倉 謙一	様	金井 春樹	様
香月 俊一郎	様	木所 泰之	様
神田 耕一郎	様	工藤 博美	様
木村 喜久	様	小澤 吉之助	様
向後 栄一	様	兄玉 昭	様
小嶋 道則	様	小峰 進	様
小林 謙一	様	佐田 義輝	様
近藤 茂樹	様	白子 達男	様
佐々木 春	様	鈴木 英夫	様
柴田 衛	様	関屋 孝志	様
鈴木 徳明	様	高橋 秀一	様
須藤 幸二	様	竹内 文茂	様
関根 俊幸	様	都丸 正	様
高橋 和幸	様	長島 道代	様
武田 徹	様	藤田 孝子	様
長島 昭夫	様	古谷 裕	様
那須 克己	様	山崎 敏雄	様
那須 克己	様	山崎 敏雄	様
那須 克己	様	山崎 敏雄	様
那須 克己	様	山崎 敏雄	様
那須 克己	様	山崎 敏雄	様

●取手聖徳女子中学校・高等学校関係

城島 直純	様	山本 高裕	様
志井田 美幸	様		
志井田 美幸	様		
山本 学	様		
秋田 敦男	様	榎本 博文	様
鳥潟 佳代子	様	中台 義浩	様
西浦 隆男	様	林 茂雄	様
柳下 広司	様		
岡田 晋	様		

●附属小学校関係

聖徳大学附属小学校後援会 有限会社キタ建築 代表取締役	古川 康雄
澤元 俊夫	様
森崎 文	様
北迫 茂樹	様
大野 竜昭	様
天野 孝治	様
小野寺 達己	様
山村 陽一	様
秋本 茂樹	様
篠田 麻衣子	様
山本 浩史	様
井出 吉也	様

●三田幼稚園関係

聖徳大学三田幼稚園父母の会 代表	中村 雅紀
中村 健太郎	様

●多摩中央幼稚園関係

聖徳大学附属幼稚園父母の会 代表	佐藤 紀美代
栗原 三郎	様
高那 謙	様
大塚 三智夫	様

●附属第二幼稚園関係

今泉 邦彦	様
本島 太	様
平岡 亮	様
菅原 良栄	様
中村 徳宏	様
小林 直樹	様

●香和会関係

聖徳大学香和会 代表	池田 多恵子
村山 みゆき	様
鈴木 俊子	様
役山 知子	様
秋元 泰子	様
江口 志保	様
倉川 悦子	様
木暮 由喜	様
高橋 美智子	様
西川 寧子	様
野口 富貴子	様
本間 美登里	様
村田 洋子	様
横尾 可奈子	様
遠藤 法子	様
土井 聡美	様
瀧野澤 弓代	様

●聖和会関係

聖徳大学聖和会 代表	湯浅 恵子
小林 康子	様
海老原 啓子	様
近藤 トシ	様
西内 好子	様

●ひばり会関係

渡邊 登美子	様
中山 哲哉	様
小松 才二	様
中山 哲哉	様

●爽和会関係

鈴木 啓純	様	田中 政道	様
中野 正一	様	中村 誠忠	様
松尾 昌	様	油井 教子	様
渡邊 裕	様		
池田 郁雄	様		
梅田 千嘉	様	小柳 正枝	様
佐藤 典子	様	中平 沙織	様
廣瀬 智子	様		
鈴木 弘子	様	少路 あゆ美	様
鈴木 弘子	様	高橋 明日香	様
渡邊 明子	様		

●聖朋会関係

安達 智美	様	大井 典子	様
鳥山 典子	様	水挽 広美	様
柿沼 利依子	様	瀬崎 馨理	様
次丸 睦子	様		
池田 清英	様	川並 孝純	様
山川 智恵子	様	川並 光昭	様
川並 弘純	様	山口 富彌	様
鈴木 俊子	様		
丹野 正隆	様		
中川 和美	様		
市川 隆一郎	様	川並 順	様
川並 妙子	様	川並 敬緒	様
川並 妙子	様	木村 敬子	様
桐生 敬子	様	坂井 一郎	様
高橋 美恵	様	白崎 けい子	様
志賀 淑子	様	津田 満理	様
手品 利之	様	仲瀬 律久	様
手品 利之	様	林 史典	様
中村 七重	様	山内 哲夫	様
古井 靖児	様	吉田 安伸	様
山内 芳文	様		
東 敏徳	様		
井村 たかね	様		
大野 泰男	様		
伊藤 輝子	様	大竹 功夫	様
神本 忠夫	様	手島 勝朗	様
長野 雅弘	様		
富瀬 裕	様		
秋谷 四郎	様	遠藤 友麗	様
木村 常在	様	原田 義也	様
宮本 茂樹	様		
沢崎 真史	様		
石井 功一	様	加納 和孝	様
菊地 貞治	様	小松 洋子	様
関根 剛二	様	田村 暉昭	様
永田 忠博	様	林 政彦	様
権名 仙早	様		
小宮 治	様		

聖徳学園に寄付をすると税金が戻ってきます。

個人 寄付金が二千元を超える場合は、超えた金額がその年の総所得金額などから控除され、所得税の控除を受けることができます。また、お住まいの都道府県・市区町村が、聖徳学園へのご寄付を寄付金税額控除の対象として指定している場合、個人住民税も控除を受けることができます。ご寄付いただきました際には、「寄付金受領書」および「特定公益増進法人の証明書(写)」をお送りしますので、確定申告の際には、双方を所轄税務署へご提出ください。

法人 受配者指定寄付金によって、日本私立学校振興・共済事業団を通じ、寄付していただきますと、法人税法上、その寄付金の全額を損金(算入)できます。

●「寄付のお申し込みについて」

お電話またはメールで、ご住所とお名前をお知らせください。募金係より募金趣意書、払込用紙をお送りいたします。

●「ご不明な点がございましたら、募金係までお問い合わせください。」

TEL. 〇四七-三六五-一一一(代)
メールアドレス bokin@seitoku.ac.jp
ホームページアドレス <http://www.seitoku.jp/bokin/>

●お礼

学園創立七十五周年を記念して開始いたしました「東京聖徳学園創立七十五周年記念事業募金」は、平成二十二年八月現在までに、九一六件のお申し込みをいただき五億円を超える多額の寄付金となりました。在校(園)生保護者、卒業生をはじめとして、多くの学園関係者の皆様からのご協力に深く感謝申し上げます。

このほかに小学校・中学校・高等学校の地上デジタル放送対応や、幼稚園の遊具の設置など教育施設・設備にも寄付金を充当いたしました。

これからも新しい時代にふさわしい環境と制度を整え、創立百周年に向けて世界に羽ばたく学園の形成に邁進したいと思います。何とぞ引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

累計一〇万円以上ご寄付をいただいた方は、聖徳大学一ノ宮館・川並記念図書館入口に設置してあります寄付者銘板に、ご芳名を刻銘して末永く顕彰させていただきます。

皆さまの温かいご支援により、聖徳大学一ノ宮館はグラウンドオープンから一年が経過し、学生の憩



川並記念図書館入口の寄付者銘板

平成22年度 入試日程

聖徳大学大学院通学課程 [共学/昼・夜開講] <博士後期課程>

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Rows include 内部推薦入試, 一般入試, 社会人入試.

<博士前期課程>

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Rows include 内部推薦入試, 一般入試, 社会人特別入試, 私立留学生特別入試.

<専門職学位課程> (教職研究科)

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Rows include 内部推薦入試, 一般入試, 社会人特別入試, 現職教員特別入試.

聖徳大学児童学部(女子)・人文学部(女子)・人間栄養学部(女子) 音楽学部(女子)・聖徳大学短期大学部(女子)

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Rows include AO入試, 地元密着特別奨学入試, 特別奨学生入試, 指定校推薦入試, 公募推薦入試, 自己推薦入試, 地域特別推薦入試, 特別奨学生入試(科目試験方式), 特別奨学生入試(センター試験方式), 一般入試, センター試験入試.

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Rows include 特別奨学生入試(科目試験方式), 特別奨学生入試(センター試験方式), 全学全学統一入試(科目試験方式), 全学全学統一入試(センター試験方式), 一般入試, センター試験入試, 一般入試, センター試験入試, 地区・ターミナル試験, 同窓会・後援会推薦入試, 私立留学生特別入試, 私立留学生特別奨学生入試, 帰国子女特別入試, 社会人特別入試, 一般入試, 内部推薦入試.

聖徳大学児童学部(女子)・人文学部(女子)・音楽学部(女子)編入学・聖徳大学短期大学部専攻科(女子)

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Rows include 内部推薦入試, 一般入試, 学士入試, 社会人特別入試, 一般入試, 学士入試, 社会人特別入試.

聖徳大学幼児教育専門学校(女子) <前期・後期入試>

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Rows include AO入試, 公募推薦入試, 保育科・保育コース推薦入試, 幼稚園・保育所園長推薦入試, 同窓会推薦入試, 特別入試, 一般入試, AO入試, 公募推薦入試, 保育科・保育コース推薦入試, 幼稚園・保育所園長推薦入試, 同窓会推薦入試, 特別入試.

聖徳大学附属女子中学校・高等学校

Table with columns: 対象, 入試区分, 願書受付期間, 入試日. Rows include 中学 (第1志望入試, 第1回入試, 第2回入試, 第3回入試), 高校 (普通科, 音楽科).

聖徳大学附属取手聖徳女子中学校・高等学校

Table with columns: 対象, 入試区分, 願書受付期間, 入試日. Rows include 中学 (推薦・専願入試, 一般入試), 高校 (推薦入試, 一般入試).

聖徳大学附属小学校(共学)

Table with columns: 入試区分, 願書受付期間, 入試日. Rows include 内部入試, 一般第I期, 一般第II期.

Table with columns: 園名, 選考, 願書受付, 選考日. Rows include 附属幼, 附二幼, 附三幼, 浦安幼.

Table with columns: 園名, 選考, 願書受付, 選考日. Rows include 三田幼, 八王子幼, 多摩幼.

聖徳大学(女子)・聖徳大学短期大学部(女子) お問い合わせ: 0120-66-5531

オープンキャンパス ▶ 10月10日[日] ▶ 11月14日[日] ▶ 12月19日[日] 聖徳祭併催入学相談会 ▶ 11月6日[土] ▶ 11月7日[日] 聖徳大学松戸キャンパス ゆったり見学・じっくり相談。秋のオープンキャンパス! 春先より定期的に開催してきた大学・短大のオープンキャンパス、今年も残すところあと3回。秋のオープンキャンパスは、夏の大規模な回と違い、じっくり落ち着いて相談・見学ができます。



通信教育部(大学院・大学・短期大学部 共学) お問い合わせ: 047-365-1200(直通)

10月生出願受付中! この秋からスタートするラストチャンス!

聖徳大学 通信教育部 児童学部 児童学科 人文学部 社会福祉学科 心理学科 英米文化学科 日本文化学科 聖徳大学短期大学部 通信教育部 保育科 聖徳大学大学院 通信教育課程 児童学専攻 児童学専攻 [博士前期課程/博士後期課程] 10月生願書受付期間 (在学期間:10月1日~9月30日) 出願書類の受付は、期間中は随時行っています。 ▶ 願書受付期間 7月1日~10月30日[必着] (大学・短大) ※聖徳大学大学院通信教育課程10月生の受付は終了しました。 ※平成23年度4月5月の募集要項は、11月下旬より配布予定です。 ● 選抜方法 書類選考のうえ入学を許可します。(入学試験はありません) ※不許可の理由についてのお問い合わせには一切回答しません。

聖徳大学オープンカレッジ 地域連携フォーラムを開催

聖徳大学オープン・アカデミー(SOA)では、地域連携フォーラム「地域の医療を知る」を開催します。基調講演では「松戸における地域医療を考える」と題して、西村内科循環器科の西村健司氏にご講演いただき、パネルディスカッションでは松戸の医療の各分野でご活躍の5名の先生に、松戸を中心とした地域の医療の現状やあり方についてお話をいただきます。地域の医療を知るよい機会ですのでぜひご来場ください。

地域連携フォーラム ~地域の医療を知る~

日時:平成22年10月30日(土)13:00~ ●基調講演: 聖徳大学香順メディアホール(1号館) 「松戸における地域医療を考える」 講師 西村 健司氏 ●参加費:無料(予約制) ●パネリスト 江原 正明 氏(松戸市立病院院長) 司会・パネリスト 中村 淳 氏(新東京病院副院長、聖徳大学人間栄養学科客員教授) 松浦 信夫 氏(聖徳大学児童学研究所長) 和座 一弘 氏(松戸市医師会副会長) 岩井 直路 氏(松戸市立福祉医療センター東松戸病院院長) 川越 正平 氏(あおぞら診療所院長)

お申込・お問い合わせ 聖徳大学生涯学習課 TEL.047(365)3601[直通]

聖徳大学幼児教育専門学校(女子) お問い合わせ: 03-5476-8811(代)

昼のオープンキャンパス ▶ 10月16日[土] 10:00~12:00 夜のオープンキャンパス ▶ 10月5日[火] 20:00~22:00 ※学校見学は、随時行っています(日・祝は除く)。

聖徳大学附属女子中学校・高等学校 お問い合わせ: 047-392-8111(代)

学校説明会 中学校 ▶ 10月16日[土] 高等学校 普通科 ▶ 10月24日[日] 音楽科 ▶ 10月23日[土] ▶ 11月13日[土] ▶ 11月20日[土] ▶ 11月21日[日]

聖徳大学附属取手聖徳女子中学校・高等学校 お問い合わせ: 0297-83-8111(代)

入試対策説明会 ▶ 10月24日[日] ▶ 11月7日[日] ▶ 11月21日[日] ▶ 11月28日[日]

聖徳大学附属小学校(共学) お問い合わせ: 047-392-3111(代)

入試説明会・授業見学 ▶ 11月13日[土]

※詳細につきましては、お問い合わせください。

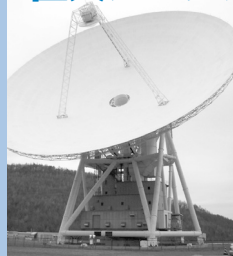
信州春日温泉 かすが荘 長野県佐久市春日2258-1

一般 9,400円~ のところ 学生・教職員 5,400円~ 卒業生・ご家族・同伴者 8,300円~ (1泊2食付) ご予約・お問い合わせは現地フロント係が承ります。お気軽にお電話ください! TEL.0267-52-2111

施設の詳細などは本学園HPでご覧いただけます。 http://www.seitoku.jp/gakuen/house/

<周辺の観光スポットご案内>

巨大アンテナが山中に出現



白田宇宙空間観測所 (佐久市上小田切大曲 1831-6)

長野県佐久市に学園のセミナーハウス・かすが荘があります。そこから車で1時間のところに「白田宇宙空間観測所」があります。ここは、惑星や彗星に接近して観測を行う宇宙探査機に向けて動作指令を送信したり、探査機からの観測データを受信する施設です。小惑星探査機「はやぶさ」とも交信していました。直径64mの反射鏡を持つパラボラアンテナが設置されています。ちなみに、松戸駅にある「聖徳大学生涯学習社会貢献センター(大学10号館)」のビルの高さが70mです。

学校法人 東京聖徳学園

〒108-0073 東京都港区三田3-4-28 TEL.03-5476-8811(代)

聖徳フラッシュ 第50号 発行人/川並 弘昭 編集/総務課

PRINTED WITH SOY INK この印刷物は大豆油を主成分とした環境にやさしいインクを使用しています。 10.10.1 re (24)